

11月16日(日)

きはびきの

～男女共同参画フォーラム&人権を考える市民の集い～

ヴァイオリン演奏と人権講演

11月16日(日)

会場：LIC はびきのサムテックホール M

開場：13:30

開演：14:00 (16:00 終了予定)

入場無料 定員 400 人

サポート体制あり (要約筆記・手話通訳・車椅子席・無料一時保育)

◆申込方法

申込フォームまたは電話

電話受付：LIC はびきの ☎ 072-950-5504

◆申込期間

9月19日(金)～10月20日(月)

結果は申し込み締め切り後に代表者に郵送します



式町 水晶

Mizuki Shikimachi

1996年北海道旭川生まれ

脳性まひと闘うプロヴァイオリニスト

東日本大震災の津波に耐えた陸前高田奇跡の一本松と被災地に
残された瓦礫や家具を再利用して作られた「津波ヴァイオリン」

を所持し演奏することを託される

2021年には東京パラリンピック閉会式での演奏を経験

実現したいのは、「平和・公正な社会」

「人々の癒し、鼓舞する音楽を届けること」を使命に、
「教育・福祉・防災」の3本柱で、学校訪問、人権イベント、消防イ
ベント等で演奏・講演活動をしている



← 申込はこちら

主催：羽曳野市 羽曳野市人権啓発推進協議会
問合せ：人権推進課

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の魅力を味わう市民講座

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の巨大前方後円墳や、それらに随伴する中小古墳（「陪冢」(ばいちょう)）をテーマにして、
「王墓」の謎に迫ります。

《第1回》

10月18日(出) 14:00～15:30 陵南の森公民館 2階 研修室

「埴輪から見た「大王墓」と陪冢(ばいちょう)」

木村 理 氏 (大阪大学埋蔵文化財調査室助教)

《第2回》

12月13日(出) 14:00～15:30 陵南の森公民館 2階 研修室

「百舌鳥・古市古墳群の陪冢(ばいちょう)とその被葬者像」

中久保 辰夫 氏 (大阪大学大学院人文学研究科考古学講座准教授)

《第3回》

1月17日(出) 14:00～15:30 陵南の森公民館 2階 研修室

「王墓は語るー人類史から見た巨大前方後円墳」

河野 一隆 氏 (東京国立博物館学芸研究部長)

【定員】 各回 150 人 (事前申込要・先着順)

【費用】 各回 500 円 (資料代として)

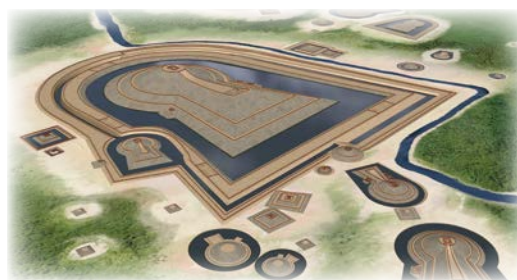
【申込】 電子メール か はがきで申込

氏名 (ふりがな)・住所・電話番号と、受講希望の回 (個
別または全回でも OK) を明記の上お申し込みくださ
い。※申し込みは、1 度につき 5 人まで (全員の氏名 (ふ
りがな) と代表者の住所・電話番号を明記)。

〒583-8585

羽曳野市 文化財・世界遺産室 (所在地省略可)

bunka-sekai@city.habikino.lg.jp



主催：羽曳野市世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」保存・活用実行委員会 (NPO 法人フィールドミュージアム・トーク史遊会、羽曳野まち歩きガイドの会、四十四の会、羽曳野市教育委員会)

後援：羽曳野市、百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館 (以上予定)

※本事業は、文化庁の令和7年度文化芸術振興費補助金 (地域文化財総合活用推進事業 (世界文化遺産)) の交付を受けています。